

ぴっぷ議会だより



7月1日 くるみ保育園うんどう会

日ごろの練習の成果を精一杯発揮する子どもたち。笑顔や真剣な表情を見せながら、たくさんの声援をうけて競技に取り組みました。

2 審議結果「第2回定例会」ほか

一般質問

- 4 植西 浩一 議員 ふるさと納税を活用し農業の活性化と支援をイラストレーターを活用し伝わる広報へ
- 5 今井 明信 議員 今後の比布町の医療体制と運営について
- 6 遠藤ハル子議員 特別養護老人ホームの特例入所への対応と周知を
- 7 佐藤 良彦 議員 振興公社による新たな視点でまちづくり事業の展開を地域包括ケアシステムの現状について

8 委員会の活動

6月12日 第2回定例会



農業委員会委員の任命など議案15件を審議

6月12日に開かれた令和5年第2回定例会では町の課題等に対し、4議員が一般質問をしました。議案15件は審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。なお、一般質問は4〜7ページに掲載しています。

報告

◆令和4年度比布町緑越明許費緑越計算書

地方自治法に基づき、一般会計の児童福祉管理費、公衆浴場管理運営事業、交流促進施設運営事業、前期課程事業、後期課程事業を令和5年度に繰り越して執行することが報告されました。

◆令和4年度比布町事故緑越し緑越計算書

地方自治法に基づき、公共下水道事業特別会計の下水道施設整備事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により、機器の製作に必要な部品等の調達に大幅な遅れが生じ、年度内に事業を完了することが困難となったため令和5年度に繰り越して執行することが報告されました。

人事

◆農業委員会委員の任命

任期満了による農業委員会委員について、11名の方々の任命に同意しました。

意しました。

- 大熊 勝 幸氏 (7区)
- 北川 雅 樹氏 (緑町)
- 佐藤 緒理恵氏 (21区)
- 山口 秀 則氏 (2区)
- 岡田 浩 幸氏 (9区)
- 安田 涉 氏 (15区)
- 勝見 宏 彰氏 (21区)
- 武藤 加代子氏 (11区)
- 御 正 寛氏 (5区)
- 福井 伸 夫氏 (3区)
- 信濃 和 子氏 (新町)

条例

◆比布町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正及び森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が施行されたことに伴う条例改正です。【原案可決】

◆比布町国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険法等の改正及び令和5年度税率改正に伴う条例改正です。【原案可決】

補正予算

◆一般会計(第2号)

◆国民健康保険特別会計(事業勘定・第1号)

補正額と総額、主な内容は下の表のとおりです。

【原案可決】

発議

◆議会改革特別委員会の設置

議会改革の推進について調査・研究を行うために設置するもので、議員提案のとおり可決しました。

なお、本委員会は議長を除く全議員によって構成され、委員長に今井明信氏、副委員長に遠藤ハル子氏が選任されました。【原案可決】

第2回臨時会

6月27日

◆町立学校校舎改修建築主体工事
請負契約の締結

◆町立学校校舎改修電気設備工事
請負契約の締結

◆町立学校校舎改修機械設備工事
請負契約の締結

町立学校校舎の改修にあたり、工事請負契約を締結するものです。

【原案可決】

お知らせ

次回の議会定例会は9月上旬です！

9月定例会では、令和4年度の決算審査を行う「決算特別委員会」が開かれます。

委員会では、町のお金の使われ方などを質疑を通じて明らかにし、より一層適正で効率的な使い方を議論するほか、今後の予算編成につないでいくための大切な会議です。

詳しい日程は、無線放送等でお知らせしますので、お気軽に傍聴にお越しください。

令和5年度各会計補正予算(第2回定例会)

一般会計(第2号)

8,158万6千円の増(総額43億6,471万4千円)
■新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対策費、児童措置費の増ほか

国民健康保険特別会計(事業勘定・第1号)

70万9千円の増(総額5億2,632万5千円)
■前年度決算額確定による繰越金の増

第2回臨時会 傍聴者のしえ



議会を傍聴された方に、議案や議事についての疑問点、詳しく聞きたいことなどをお聞かせいただくアンケートを実施しています。

お寄せいただいた疑問点などを紹介します。

Q 町立学校校舎改修に際し、教職員の休憩室が無いのは労働安全衛生法上問題があるのでしょうか。

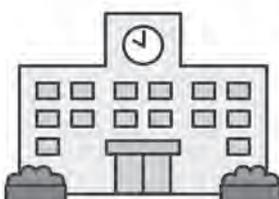


A 労働安全衛生法に基づく事務所衛生基準規則において、職員

の人数によって一時的に使用できる休憩室を設ける必要がありますが、随時利用できる機能が確保されれば専用の設備がある必要はないとされています。そのため学校においては、保健室を休憩室として取り扱うことで問題ないとされています。(教育課)

Q 児童クラブを同じ建物の中に統一するようだが、同クラブ支援員の休憩室はないのだろうか。

A 学校内に新たに設置する児童クラブ内に支援員の休憩室はありませんが、隣接している別室に休憩スペースを確保することとしています。(教育課)



傍聴いただきありがとうございます。ありがとうございました。



ふるさと納税を活用し 農業の活性化と支援を

村中町長

行政機構改革により ふるさと納税の取組みを強化する



植西 浩一 議員

□質問・植西議員

ふるさと納税を持続的に、そして比布町の基幹産業である農業の活性化に使えるようにすることで「ふるさと納税」→「農業者」→「返礼品開発」→「ふるさと納税増額・農業活性化」という循環を生み出す仕組みを作れないでしょうか。

■答弁・村中町長

この4月から商工観光課内に経済活性化係を設置し、ふるさと納税に対する取組みを強化していく体制を整備しました。本町の魅力や特産品を多くの方々に周知し、全体的な納税額の増加を目指すことに注力します。

□植西議員 基金を創るなどして農業者への支援をすることは、比布町農業の持続性につながると思っています。

また、国の政策などをみても農業者に特化した基金を創ることは、税金の使い途として公共の福祉を必ずしも逸脱することにはならないのではないのでしょうか。

■村中町長 特産品開発補助事業は、比布町の農産物を使った特産品の開発がメインになりますので、基本的に農業者に対する支援でもあると思います。

□植西議員 特産品開発が進まない現状について、どのようにお考えですか。

■村中町長 特産品開発は、事業者が儲からなければ続きません。ふるさと納税の返礼品開発というよりも、事業者として長く愛される商品を開発してほしいと思います。まず、基礎をしっかりと作った上で開発することが大切だと思いますが、町は民間が開発する土壌をつくるのが役目だと考えますので、現補助制度の仕組みを研究する必要があると思います。

□植西議員 この20年間に開発された特産品は数えるほどしかありません。現在、開発している団体などがどのように活動しているか把握している現状を教えてください。

■村中町長 ふるさと納税は町税の一般財源ですので、1円でも多くいただきたいのですが、事業者として、まずはご自分の事業を成功させたいという思いが第一であると思います。ご自分の商売の中で開発された商品で好評を得ているものをふるさと納税の返礼品として、ぜひ採用させていただきたいと思っています。

イラストレーターを活用し伝える広報へ

□植西議員 伝えるべき広報として、情報をより多く網羅し、写真を入れ込むなどして読みやすく作ってきたものと思います。

しかしながら、文書と同時に必要なことをその都度、イラストを作ることでより「伝わる広報」となるのではないのでしょうか。

■村中町長 イラストや写真を活用することで、伝えたい情報をイメージとして分かりやすくお届けすることが出来ます。

また、本年度中に広報紙のリニューアルを計画しておりますので「伝わる広報紙」を目指してまいります。

□植西議員 イラストを描く技術を持つている方を採用する考えはありますか。

■村中町長 専門職としては難しいですが、特技を持つている方の採用には配慮できると思います。

また、最近のAI技術で必要なイラストを作成できる可能性もありますので、それらの方法を検討しながら、分かりやすい情報発信に努めてまいります。



今後の比布町の 医療体制と運営について

村中町長

「顔の見える医療」を原点に 町立診療所の適切な体制の確保に努める



今井 明信 議員

□質問・今井議員

先の一般質問で「町内に理学療法士を置きリハビリテーションに力を入れる医療体制を進めるべき」旨を伺った際に「現指定管理者と協定を結んでいる期間であり期間終了に際して協定の中でできるかを検討したい」旨の答弁でした。一方、本年3月定例会での町政執行方針では「町立びつぷクリニクスは地域医療の拠点、医療体制を保持する為に適正な運営支援に努める」旨の方針を述べられました。

そのような中、3月15日に旭川市内で森山病院等を運営する「社会医療法人元生会」と包括連携協定を締結されました。そこで質問です。

①この度の「元生会」と締結された5つの協定内容と今後の関わりについて。

②現指定管理者の「友崇会」との今後の協定について。

③今後の町内リハビリテーションの必要性、考え方や運営方法について。

④合わせて今後の町内診療の在り方。

以上、4点について伺います。

■答弁・村中町長

質問①の5つの協定事項は、1「地域医療体制及び全世代型地域包括ケアシステムの構築に関する事

項」、2「災害時の地域医療・介護体制の構築に関する事項」、3「町民の健康の保持増進にかかる施策の推進に関する事項」、4「町立学校医の委嘱に関する事項」、5「その他福祉サービスの維持と充実に関する事項」です。

質問②の医療法人友崇会との協定期間は令和7年3月31日までとなっております。

質問③は、本町でも脳血管疾患が原因で要介護となる方も多く、その重要性については認識しており検討が必要であると思えます。まずは予防から介護まで途切れない環境を整える一環としてピピカツリハビリ体操指導士養成事業を実施しています。

質問④ですが、地域医療においては必ずしも高度な検査や治療は必要ではなく、診療所での対応が難しい場合は次の医療機関へ繋げていく連携体制が重要です。地方において医師や看護師の確保が難しくなっており、入院病棟の廃止も視野に入れた協議・検討が必要になると考えます。

□今井議員 現在、元生会は剣淵町で訪問リハビリテーションを行っております。

また、春光台にはリハビリテーション事業所も開設しています。民間医療法人では、このような地

域医療を進めております。今後、町内にリハビリテーションもしくは老健施設を設置することについて比布町の考えを伺います。

■村中町長 規模にもよりますが、ある程度のリハビリができる施設はあっても良いとは思いますが、施設も含め全て町で持つわけではなく、利用が出来る等の連携ができれば良いと考えており、検討します。

□今井議員 次期指定管理者の選定は広く他の医療法人の考え方を伺い公募を進めることを検討するようですが、なぜ今回は更新ではなく公募を検討するのか今一度伺います。

■村中町長 リハビリの仕組みについても十分でない事、事件を起こされたという事、再度指名することが適切であるかどうか等、本町の医療スタイル確立に向け、様々な理由を総合的に判断して次の指定管理の選定に際しましては公募を検討したいと思えます。

□今井議員 国保以外の協会けんぽや共済組合などの公的医療保険に加入している全ての町民の健康状況を把握できるような情報収集を考えられないでしょうか。

■村中町長 住民の健康維持は自治体の同一課題ですので、一度近隣市町で課題を情報共有し、解決策について研究したいと思えます。



遠藤 ハル子 議員

特別養護老人ホームの 特例入所への対応と周知を

村中町長

要介護者の状況に応じて対応できるよう 社会福祉法人への助言を継続する

□質問・遠藤議員

厚生労働省は今年4月7日「特別養護老人ホーム（以下、「特養」という。）における要介護1、2の特例入所を利用者の状況だけでなく、地域事情も市町村が考慮し判断できる」とした改正通知を出しました。これまでの特例入所は認知症や独居の方など、希望者の状況を考慮していましたが、今回は自治体が必要と認めた場合は、要件を広げても良いこととなります。「特養には介護度が重くならなければ入れない」「介護保険料を払っていても使えない」などのあきらめもあり、待機者登録の申込みをしていないのが実情ではないでしょうか。

このたびの「特例入所」に町はどう対応していくのか。また、安心して老後を送るためにも町民に特養入所までに至る手続きや相談窓口を知らせることなどについて町長に伺います。

■答弁・村中町長

おおむね3年に一度の制度改定に伴うサービス形態の多様化や入所施設の増加などの影響により特養の「空床」も目立つようになり、介護現場からは「入所者を限定することではかえって介護資源の有効活用が妨げられているのではない

か」との声も聞かれるようになりました。今回、入所指針の一部改正が行われ、特例入所の対象者について、「地域の実情等を踏まえ、各自自治体において必要であると認める事情があれば、それも考慮すること」の文言が追加されるなど、特例入所についてより柔軟な対応が可能となったものです。

町ではこれまでも社会福祉法人が実施する特例入所における入所判定会議等において、介護度だけで判断するのではなく、本人の生活環境や家族の介護力なども加味した上で入所決定されるよう、中立的な立場で必要な助言等を行っており、現在も、町内特養入所者の1割程度が特例入所者となっています。今後も要介護者本人はもとより、家族や地域の実情に応じた柔軟な対応ができるよう、法人に対し継続した助言等を行っていきます。

住民への制度周知は、特例入所だけを特別にPRするのではなく、その方が必要なサービスについてさまざまな方策がありますので、その方に合った介護予防あるいは介護について町として相談にのりたいと思います。

□遠藤議員 特養は要介護3以上（中重度）にならなければ入所でき

ないという固定観念が頭の中にあります。本町の特養だけではなく、どこの特養も苦勞されており、倒産もあちこちあります。今後の特養への支援について考えを伺います。

■村中町長 本町だけに限って言えば、高齢者人口は既にピークを過ぎ、これから高齢化率は高まりますが高齢者数は既に減少している状況ですので、いつまで50床が適切なかという判断もしながら、社会福祉法人の運営に対して支援をさせていただきま。町民の安心のために、特養がいつまでも経営されるよう、人的にも支援していきたいと思えます。

□遠藤議員 第9期介護保険事業計画に向けて特養をどうしていくのか考えを伺います。

■村中町長 「びっぷの和」なども含めてさまざまなご意見をお伺いする機会があります。町の規模に合った施設の整備が必要だと思えます。現場で調整役として働いているケアマネジャーの意見も聞き、町内のニーズを把握できるように努めてまいります。



振興公社による新たな視点で まちづくり事業の展開を

村中町長

直営にこだわることなく 選択肢の幅を広げて検討を進める



佐藤 良彦 議員

□質問・佐藤議員

町のPRと地域活性化及びコミュニティの場の提供を目的として町の管理施設を有効活用するため、公民両輪の振興公社により運営することで、各施設が新たな視点を持ってまちづくり事業や健康増進事業なども展開でき、施設のメリットを最大限生かすことが可能になります。

東川町や当麻町では振興公社による新たな視点で、様々な施設が多くなの方に利用されています。振興公社設立の必要性をどのように捉えていますか。

■答弁・村中町長

公共性と企業性を併せ持つ第三セクターや地方公社の法人数は、経営の悪化などにより減少傾向が続いています。

東川町や当麻町では、観光施設の管理運営や地域の観光振興などを、民間企業のノウハウを取り入れた第三セクター方式で運営し、行政ではできない柔軟な事業展開を行い、地域の雇用の場にもなっています。

現在、町の施設管理は、直営や指定管理者制度、委託方式で行い、施設管理に限らず様々な事業などを、民間事業者との協働の可能性について検討や協議を行いながら実施しておりますが、公社の設立

について、近年は深い議論を行っていません。民間事業者や地域住民の柔軟な発想による効率的な事業展開や地域資源の有効活用など、これからのまちづくりを支える手段の一つとして、十分に検討する必要があると思います。

地域包括ケアシステムの現状について

□佐藤議員 町では、社会的弱者と言われる高齢者・障がい者・子どもたちが生活しています。特に地域で生活している社会的弱者は地域で守るべきと考えます。

町の地域包括ケアシステムの現状として、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が切れ目なく一体的に提供される体制の推進が求められています。現状の問題点と解決案を具体的にお示しください。

また、地域包括ケアシステムの他者視点による検証の必要性を感じますが、どうお考えですか。

■村中町長

町では、医療機関や介護施設、地域ボランティア等と連携し、定期的な会議の開催や事例検討、情報交換など専門分野における知識向上を図るとともに、近隣市町との協力体制の強化と地

域の実情に応じた体制づくりに取り組み、自立支援と重度化防止に努めています。

少子高齢社会の進行や生活環境等の変化に対応し柔軟で多様なサービスが提供できるよう、社会福祉協議会を中心に、高齢者の生活支援や介護予防サービスの提供体制構築に向けた基盤整備を行い、その調整役の生活支援コーディネーターを配置しています。

小さな町だからできる横のつながりを通して顔の見える関係性を軸に、切れ目のないサービス提供を目指しており、民間事業者や法人など、各分野からご協力をいただき一定程度システム化はできていると考えます。しかし、過疎地域では各専門職のなり手不足が課題であり、「地域包括ケアシステム」の継続には、人材の確保と育成が必須です。そのためには、研修事業の充実とケアマネジャーなど専門資格取得に対しての助成制度の構築も必要と考えます。

地域包括ケアシステムは、町民や町内外の関係機関と連携し構築されたものであり、地域が抱える課題や問題点を共有し、解決に向けた協議や提案も行われており、現段階では他者視点による検証は考えていませんが、位置付けや仕組みなどは研究していきます。

委員会のactivities



Q…委員からの質疑
A…担当からの回答

総務常任委員会
6月6日開催

税務住民課

《報告事項》

- 令和4年度町税等の調定及び収納状況
- 上川広域滞納整理機構の4年度収納状況・5年度引継状況
- 新規案件はなく、10件7人、約176万円引継ぎ
- その他
 - ◇ 確定申告相談・受付 277件
 - ◇ 住民登録人口（3月末現在） 3,491人
 - ◇ 令和4年度マイナンバーカード交付枚数 1,056枚（約70%）
 - ◇ クリーン作戦 4月21日～5月8日実施
- Qマイナンバーの誤登録はあったのか。
- A誤登録はありませんでした。

《協議事項》

- 第2回議会定例会提出議案
- ◇ 比布町税条例の一部を改正する条例案

保健福祉課

《報告事項》

- ▽ 福祉係・こども未来係
- 令和4年度高齢者等の冬の生活支援事業状況等
- 令和4年度高齢者移動支援（ぴたく）利用状況
- 令和4年度保育施設等入所児童数
- 令和4年度児童手当等支給状況
- 令和4年度障害者自立支援給付実績及び利用状況
- ▽ 健康推進係・栄養指導係
- 令和4年度健診等結果状況等
- ▽ 介護保険係
- 令和4年度介護保険特別会計決算見込
- 介護給付費の推移
- ▽ 地域包括支援センター
- 令和4年度地域包括支援センター運営実績
- ▽ 国保医療係
- 令和4年度国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計決算見込
- 令和5年度国民健康保険税案

《協議事項》

- 第2回議会定例会提出議案



ピピカツリハビリ体操指導士養成講習会

- ◇ 国民健康保険税条例の一部を改正する条例案
- ◇ 一般会計補正予算案
- ◇ 国民健康保険特別会計補正予算案

《その他》

- 新型コロナウイルスワクチン接種状況
- 社会福祉協議会居宅介護支援事業所加算取下げに係る過誤調整
- 町立診療所入院病床廃止に向けた検討・協議

教育課

《報告事項》

- 令和5年度比布町教育推進の重点
- ▽ 総務係
- 教育委員会機構図
- 令和4年度教育奨励賞表彰者
- ▽ 学校教育係
- 児童生徒数と学級編制数及び教職員体制



公民館事業「春の突哨山ツアー」

- 部活動指導員の配置
- RST（リーディングスキルテスト）実施結果
- 令和4年度教職員時間外在校等時間及び年次有給休暇等の取得状況の公表
- 修学旅行に関するアンケート
- ▽ 文化振興係
- 令和4年度社会教育施設の使用料等
- 令和4年度図書館の利用状況等
- 通年寺子屋「ほくれい塾」
- 白寿大学の運営
- 公民館事業「春の突哨山ツアー」
- ▽ スポーツ振興係
- 令和5年度スポーツ少年団、公民館教室等の加入状況
- 幼児・児童生徒運動教室
- 多目的室内運動場夏場開放（遊具、ストライダーコース設置）
- ぶらりピップまちあるき2023
- 第4回比布町ヒルクライムレース大会

《その他》

- 所管施設委託業務発注状況
- ◇ 百年記念公園管理委託業務
- ◇ 幼児向け運動教室委託業務

《協議事項》

- 第2回議会臨時会提出議案
- ◇ 町立学校校舎改修建築主体・電気設備・機械設備工事請負契約の締結

《総務企画課》

《報告事項》

- 第2回議会定例会提出議案
- 町債について（4年度決定・5年度申請）
- 令和4年度比布町各会計決算見込・基金の状況
- 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況

- 企業版ふるさと納税の状況
- その他
- ◇ 委託型地域おこし協力隊
- ◇ 友好交流事業
- ◇ JR北海道宗谷線調査・実証事業
- ◇ パートナーシップ制度の導入

- 第2回議会定例会提出議案
- ◇ 一般会計繰越明許費繰越計算書
- ◇ 公共下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書
- ◇ 令和5年度各会計補正予算案

総務常任委員会

7月10日開催

《総務企画課》

《協議事項》

- 第3回議会臨時会提出議案
- ◇ 防災行政無線操作卓設備更新工事請負契約の締結

《保健福祉課》

《協議事項》

- 中央ふれあい広場再整備に係る全体配置（仮）

産業建設常任委員会

6月2日開催

《農林課》

《報告事項》

- 農作物の作付状況
- (1) 各作物の作付計画
- (2) 作業受委託状況
- 経営所得安定対策
- 町単独補助事業申請状況
- ◇ 農地流動化促進対策事業
- (1) 売買支援 継続件数 41件
- (2) 賃貸支援（6月末基準）
- ◇ そ菜・花卉作付拡大推進事業 1件
- ◇ 青果物等振興対策事業 5件
- 土地改良事業の実施予定
- 熊の目撃情報報告

《商工観光課》

《報告事項》

- 令和4・5年度各観光施設利用状況等
- (1) びっぶスキー場
- (2) グリーンパークびっぶ
- (3) 良佳プラザ・遊湯びっぶ
- 令和5年度イベント等実施予定
- 令和4年度地方創生臨時交付金を活用した事業
- (1) 比布町商工業振興補助事業（コロナ型）24件
- (2) 比布町生活応援商品券給付事業 利用率98・58%（最終実績）
- (3) 観光施設を利用した経済活性化事業
- (4) 「びっぶの観光」受入体制支援事業
- 令和5年度地方創生臨時交付金を活用した事業
- (1) 2023比布町生活応援商品券給付事業



千島笹工芸館「ワークショップ」

■ ふるさと納税の状況

- 地域おこし協力隊（竹細工技術伝承）の取組み

《協議事項》

- 第2回議会定例会提出議案
- ◇ 令和5年度一般会計補正予算案

《その他》

- 観光バス事業
- 令和5年度びっぶスキー場営業方針

《建設課》

《報告事項》

- 建設工事の発注及び進捗状況
- 令和4年度町営住宅使用料の収納状況及び管理状況等
- 令和4年度上下水道使用料等の収納状況
- 事故繰越（2ページをご覧ください）

《協議事項》

- 街灯の設置箇所

《農業委員会》

《報告事項》

- 令和5年度農業委員会活動計画
- 令和5年度農業委員会の業務概要・農業概況

議会のうごき

6月

- 2日 産業建設常任委員会 (役場、委員・議長)
- 3日 中央学校運動会 前期課程
(グラウンド、各議員)
- 5日 上川地方総合開発期成会定期総会及び専門
部会 (旭川市、議長)
- 6日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
- 8日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
- 9日 老人スポーツ大会 (町体育館、議長)
大雪浄化組合議会臨時会 (役場、組合議員)
愛別町外3町塵芥処理組合議会臨時会
(役場、組合議員)
上川中部福祉事務組合議会臨時会
(役場、組合議員)
- 12日 第2回議会定例会 (役場、全議員)
- 14日 米麦改良協会役員会 (農協、委員)
- 15日 北海道町村議会議長会定期総会及び議長・
事務局長研修会 (札幌市、議長)
- 18日 陸上自衛隊第2師団創立73周年・旭川駐
駐屯地開設71周年記念行事(旭川市、議長)
- 20日 札幌比布会長来庁 (役場、議長)
- 24日 東京比布会総会 (東京都、議長)

- 26日 上川町村議会議長会役員会 (占冠村、議長)
- 27日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第2回議会臨時会 (役場、全議員)
全員協議会 (役場、全議員)
- 30日 観光協会通常総会 (商工会館、議長)

7月

- 1日 くるみ保育園うんどう会 (町体育館、議長)
- 2日 札幌比布会総会 (札幌市、議長・両委員長)
- 4日 北海道町村議会議員研修会(札幌市、全議員)
- 5日 第9回大雪分会消防訓練大会
(改善センターほか、各議員)
- 7日 議会広報特別委員会 (役場、委員)
- 10日 総務常任委員会 (役場、委員・議長)
議会改革特別委員会 (役場、委員・議長)
- 19日 全道新任議員研修会 (札幌市、新任議員)
- 20日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)
湖南省下田商工夏まつり (湖南省、議長)
- 25日 議会運営委員会 (役場、委員・議長)
第3回議会臨時会 (役場、全議員)
- 26日 大雪消防組合議会臨時会(美瑛町、組合議員)

編集後記



5月27日、比布中央学
校体育大会に参加させて
いただきました。大会の
テーマは「ONE TEAM」(ワ
ンチーム)。コロナ禍で
溜めていたエネルギーを
本番で出し切っている姿
を感じてきました。生徒
が最後まで全力で競技す
る姿、保護者の応援、教
職員の支えがあつての開
催、本当にお疲れ様でし
た。

感のある仕事を全うし
た」と自信持って言える
4年間を送りたいと考
えています。

私の好きな座右の銘
「主体変容」は松下幸之
助の著書や松下政経塾の
中で紹介されており、「気
づいて変われ」という意
味です。

今春、コロナ禍が収束
に向かっている中で統一
選挙が行われ、本町にお
かれましても比布議会議
員選挙が実施されまし
た。結果、無投票ではあ
りましたが、定員9名の
議員が選出され、5月1
日に新体制による臨時議
会がスタートしました。

謙虚に人の話に耳を傾
け、実行力のある仕事を
心がけていきます。

(佐藤 良彦)

私は、町民の皆さんの
負託を受け、議員の職を
拝命致しました。「使命

競技前に円陣を組み、
気合いを入れる子どもたち。

